

宇都宮市立今泉小学校第5学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と計算	83.6	79.3	77.1
	量と測定	79.7	73.4	72.9
	図形	85.3	79.4	78.0
	数量関係	73.2	67.0	64.0
観点	数学的な考え方	76.2	68.2	65.1
	数量や図形についての技能	82.6	77.7	75.4
	数量や図形についての知識・理解	78.8	74.5	72.8

★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<p>○本校平均正答率が83.6%で、県の平均を6.5ポイント、市の平均を4.3ポイント上回っている。</p> <p>○整数や小数の計算技能はよく身に付いている。</p> <p>○文章問題を表した図を選択する設問では県の平均を10ポイント以上上回っている。</p>	<p>・学習した内容はほぼ身に付いていると思われるが、概数の表し方については理解が十分ではないと思われるので、プリントなどを活用して復習をするなど、定着が図れるようにしていく。</p>
量と測定	<p>○本校平均正答率が79.7%で、県の平均を6.8ポイント、市の平均を6.3ポイント上回っている。</p> <p>○面積や角の大きさに関する設問では、全てにおいて県の平均を大きく上回っている。</p>	<p>・身近にあるものの面積を推察することが苦手な児童が多くいるので、同じような問題を数多く解いたり日常生活の中で経験をもとに考える力を養えるような場を設けたりして意欲を高めるとともに、技能についても向上を目指していく。</p>
図形	<p>○本校平均正答率が85.3%で、県の平均を7.3ポイント、市の平均を5.9ポイント上回っている。</p> <p>○四角形や立体の設問について全て県や市の平均を上回っている。特にひし形の作図の設問では県の平均を10ポイント以上上回っている。</p>	<p>・図形については実物を用いたり、少人数指導やT・Tによりひとりひとりを支援しながら授業展開したりしたことが高い正答率につながったと思われる。今後も継続して指導していく。</p>
数量関係	<p>○本校平均正答率が73.2%で、県の平均を9.2ポイント、市の平均を6.2ポイント上回っており、他の領域よりも県や市と比べ高い正答率である。</p> <p>○計算のきまり・変わり方調べについて高い正答率であり、()を用いた式の計算順序の理解や文章問題を解くための立式の技能についてよく習熟がなされている。</p>	<p>・折れ線グラフを読み取ることはよくできているが、棒グラフと折れ線グラフを比べて変わり方の違いから2つのグラフが同じではない説明をすることができない児童が見られるので、同じような問題を繰り返し解かせることで定着を図る。</p>